

平成 23 年度（2011 年度）事業報告

1. 全体評価まとめ

昨年度に引き続き、地域まつり・商店街等でのイベント参加及び出展を通して「もったいない運動えどがわ」登録数の拡大を図り、登録数 8 万 4 千人を超えた。

会員数においては、36 件の新規登録会員数を得た一方、会費未納者への督促等の整理を行った結果、全体で 90 名の減となった。

震災の影響としては、計画停電の実施による全国的な節電意識の高まりがあり、節電啓発パンフレット「夏の節電当番」をタイムリーに作成し、各公共施設に配布した。

節電の取り組みの中では、とりわけ「みどりのカーテン」が注目され、モニター事業も目標を達成した。一般に分かり易く、取り組みやすい事例として今後も推進していきたい。

昨年度から企画提案制度が会員団体により良く周知され、平成 23 年度の会員団体による企画提案事業（委員会・事務局を除く）は申請が 22、実施が 18 団体となった。事務局も含めた事業実施日数は、延べ 210 日となった。

委員会においては、各委員会が積極的に活動を実施し、また「エド・エコプラス」や「江戸ものづくりサロン」などの新たな事業の担い手も誕生している。

2. 次年度へ引き継ぐ重点課題

- (1) 会費の引き下げに伴う正会員数の拡大と「もりあげ隊」の活動の推進
- (2) 節電意識の高まりに対応した省エネ事業の推進
- (3) 委員会による事業の推進と事業の担い手の拡大

3. 事業評価

活動項目		H22	H23	比
事業	事業実績件数	153	225	72
	参加者数	17,184	16,367	△817
会員等	会員数	429	339※	△90
	ボランティア参加者数	880	190	△690
	もったいない運動登録者数	79,409	84,174	4,765
財務	区補助金実績	51,815	52,187	372
	民間等助成金実績	2,564	2,350	△214

※H23 新規登録会員数 36件

4. 科目別事業評価

活動項目	事業数	参加者数
(1) 環境教育・環境学習の推進事業	26	935
(2) 人材育成事業	26	514
(3) 団体に対する活動支援事業	0	0
(4) 区民・事業者・行政の交流・連携の推進事業	120	13,335
(5) 情報の提供及び支援事業	19	793
(6) 相談業務事業	—	—
(7) その他の目的を達するために必要な事業	34	790
(8) 理事会運営の確立	—	—
計	225	16,367

(1) 環境教育・環境学習の事業推進

○成果

- ①グリーンプラン推進研究校が累計で49校となった。(対象111校)
- ②「水と私たち」の冊子を活用した出前事業の実施。(新学習指導要領に準拠)

○次年度に引き継ぐ課題

- ①環境学習を中心とした出前授業の推進。
- ②子ども放課後環境学習支援の充実。
- ③水の基本学習参考資料「水と私たち」の活用

(1-1) 学校等環境学習支援

項目	計画	実績
環境学習支援（グリーンプラン推進校研修会・学校版もったいない運動）	G P 11校	G P 11校
出前授業等の実施	25回	6回/541人
「グリーンプラン情報」の発行	12回	12回
子ども放課後環境学習支援	8回 400人	1回/60人

(2)人材育成

○成果

- ①「もったいない運動」普及のため、区民・学校・事業者を対象に環境学習を実施し、推進する人材の育成を行った。
- ②講習会参加者が講習終了後、堆肥作りを広める側に立ち活動をはじめなど講師の育成にも成果が出た。

○次年度に引き継ぐ課題

- ①今注目の次世代環境都市（スマートシティ）の取り組み等の講座・見学会を取り入れたプログラムを充実させる。
- ②生ごみリサイクルの楽しさ・大切さを1人でも多くの区民に伝え参加者の確保につなげる。

(2-1)環境学習リーダー養成講座

項目	計画	実績
おきがる環境講座開催	300人	335人

(2-2)生ごみリサイクル講習会

項目	計画	実績
生ごみリサイクル講習会開催	160人	115人

(3)団体に対する活動支援

○成果

- ①協賛企業が、東日本大震災の影響で事業中止の判断をした為事業実施に至らなかった。

○次年度に引き継ぐ課題

- ①平成24年度事業として、協賛企業よりすでに支出の継続が決定しており実行予定。

(3-1) 共催事業支援

項目	計画	実績
キッズライド実行委員会 事務局共催事業（自転車利用の推進）	100人	実施せず

(4)区民・事業者・行政の交流・連携の推進事業

○成果

- ①もったいない運動登録者が拡大し、区民8人に1人は登録に参加している。
- ②マイバッグコンクールにおいて、昨年度より多くの応募があった。
- ③「みどりのカーテン」プロジェクトによる講習会で、モニターが定着した。
- ④エコカンパニーえどがわ登録事業者が拡大した。
- ⑤地域まつり等に参加し、区民に地球温暖化防止について啓発できた。

○次年度に引き継ぐ課題

①「みどりのカーテン」モニター講習会において、今年も電力不足による節電が予想されるため、さらなるモニターの拡大を目指す。

②地域イベント等に今後とも参加し、環境を良くする地区協議会や商店街等、地域との連携・協力を進める。

(4-1)もったいない運動えどがわの推進

項 目	計 画	実 績
もったいない運動登録者の拡大	82,000 人	84,174 人
もったいない講座講習会等の開催	30 回	11 回
第 6 回もったいない運動えどがわ区民大会の開催	3,000 人	6 月の環境フェアと統合
地域活動支援	4,500 人	517 人
江戸川区小中学生マイバッグコンクール作品展示	4,500 点	81 校 5,140 点

(4-2)省エネ・新エネルギーの推進

項 目	計 画	実 績
環境に配慮したエコライフ講座、講習会等の開催	725 人	473 人
みどりのカーテンの普及啓発	350 人	344 人
環境に配慮したエネルギー利用懇談会開催	実施	39 人

(4-3) 3R の推進

項 目	計 画	実 績
3R に関する講座、講習会等の開催	908 人	596 人

(4-4)事業者の取組み推進・支援

項 目	計 画	実 績
エコカンパニーえどがわ登録事業者の拡大	35 件	36 件
エコカンパニーえどがわ普及啓発・講座	400 人	804 人
E C E 登録事業者への省エネルギー改善相談	—	43 事業者
太陽光発電講座&相談会の開催	10 回	10 回

(4-5)商店（街・会）やスーパーのエコ活動支援

項 目	計 画	実 績
商店街主催イベントへの支援	9 回	6 回
商店街のエコチャレンジ宣言の拡大	実施	実施

(4-6)各イベント等への参加

項 目	計 画	実 績
江戸川区区民まつりへの参加	1,000 人	1,000 人
地域まつりへの参加	参加	1,917 人
産業ときめきフェア	参加	300 人
「江戸川区水辺の活動交流会」への参加	200 人	200 人

(4-7)他団体との連携・協働の推進

項 目	計 画	実 績
江戸川総合人生大学地球環境授業への講師派遣	実施	実施
葛西海苔P J、葛西臨界探検隊、環境教育フォーラムとの連携	実施	実施

(5)情報の提供及び支援事業

○成果

- ①情報紙の発行回数が少なくなった分、内容を充実させて部数を増やし、地域まつり等で配布した。
- ②多目的ルームは、会員団体の教室開催数の増加によって利用回数が増えた。
- ③エコセンターリーフレットは、「入会申込書」と「もったいない運動えどがわってなあに？」を合冊・刷新し、イラストを添えて、分かりやすく充実した内容となった。

○次年度に引き継ぐ課題

- ①情報紙で「もったいない運動」に楽しく取り組む区民を紹介して、登録者を拡大していく。
- ②リーフレットを地域まつり等で配布して、会員数の拡大をめざす。

(5-1)情報紙の発行

項 目	計 画	実 績
エコちゃんねるの発行	4回 20,000 部	26号 10,000 部 号外 5,000 部※ 27号 10,000 部

※「もったいない運動えどがわ」取り組みレポート応募用紙として発行

(5-2)多目的ルームの活用

項 目	計 画	実 績
講座講習等の開催	実施	19回 793人 (40回 957人*)

※「エド・エコプラス」の全教室、「太陽エネルギー利用講習会」「おもちゃの病院」合計

(5-3)リーフレット等の改訂&印刷

項 目	計 画	実 績
もったいない運動えどがわ冊子の増刷	実施	実施 8,000部
ECEパンフレットの改訂&発行	実施	9月改訂 200部

(5-4)ホームページ運用管理

項 目	計 画	実 績
「もったいない運動推進」情報の充実	実施	実施

(5-5)会員の拡大

項 目	計 画	実 績
あらゆる機会をとらえてのPR	実施	新規登録 36件

(6) 相談事務事業

(7)その他目的を達成するために必要な事業(自然環境の保全と活用)

○成果

①クリーン作戦を通じ、多くのごみが海岸や河川に捨てられている現状を見ることで、日常の

生活を振り返り自然に対しての関心を深めた。

②自然観察会等で地域の総合的環境の理解を深めるとともに、樹木や魚類、鳥類を総合的に考

えることを広めた。

○次年度に引き継ぐ課題

①水辺環境調査の結果を区民に広めるため、広報に力を入れる。

②公園や街路樹、学校等の樹木について、改善すべき点の取りまとめ。

(7-1)水辺環境調査

項 目	計 画	実 績
新中川、葛西沖の水辺の環境調査(受託事業)	実施	42人

(7-2)自然復元・再生事業

項 目	計 画	実 績
河川や海岸のクリーン作戦を通じた自然環境の復元を進める	350 人	158 人
絶滅種や生物多様性に関する啓発を進める（ムジナモ・ビオトープ）	90 人	77 人

(7-3)えどがわ自然学校

項 目	計 画	実 績
えどがわ自然学校や自然観察会等を通じ、自然に触れる	700 人	635 人
自然活用マニュアル、啓発冊子、安全にかかわる情報提供	実施	「水と私たち」1,200 部 ※H23 年再版分

(8)理事会運営の確立

○成果

理事会と各委員会が連携した事業の推進が行われた。

○各委員会事業内容

P44~52 掲載

○次年度に引き継ぐ課題

各委員会活動のさらなる推進